

9月の園だより

令和5年9月1日

杉並区立西荻北子供園

園長 石床 美穂子

豊かな体験～出会う・感じる・表現する～

園長 石床 美穂子

2学期が始まり、子供園は全園児の子どもたちが登園し、再会したことを喜び、元気な声が響いています。今年の夏も厳しい暑さでした。それぞれのご家庭での夏はどのようなことがあったでしょうか。

今年は、コロナが5類になったことで、帰省や旅行、テーマパークなどいろいろな所に外出された方も多かったようです。自粛していたお祭りも再開され、杉並区では、阿佐ヶ谷の七夕まつりや高円寺の阿波踊りなども行われ、大賑わいでした。また、ご自宅でも、夏ならではの体験を楽しんだり、ゆったりと過ごしたりした方もいたのではないのでしょうか。

海や山など、自然体験ができることも夏の楽しさの一つですね。長時間保育児のAさんは、8月の中旬に祖父母の家に帰省し山に行きました。そこで大好きな虫を見つけたことがうれしくて、久しぶりに登園した日に「クワガタを捕まえたんだよ。」「オスは難しかったけど、メスは、こうして、つかんだよ。」「あのね、カマキリやカナブンもいたんだよ。」と思い出しながら話してくれました。身振り手振りで話してくれたAさんの表情から、ワクワクした気持ちで昆虫を見て、好奇心いっぱいに関わっていたことが感じられました。しばらくして、Aさんは本棚から昆虫の図鑑を持ってきて、「これ捕まえたのかな。」「これは、いなかった。」などと言いながらじっくりと見ていました。

実は、Aさんは、園庭のダンゴムシの居場所をよく知っていて、1学期には『ここにいるはず・・・』と葉っぱをそつとめくってよく捕まえていました。また、園で飼っているカブトムシにも興味をもって餌やりをしたり、土をきれいにしたりしながら世話をしていました。そんな昆虫好きなAさんにとって自然の中での昆虫との出会いは本当に楽しい体験だったようです。

そして、Aさんは、紙と鉛筆をもってきて、絵をかきはじめました。出会った昆虫に思いを寄せながら没頭して、クワガタやカマキリなどをかいていきました。時々図鑑を見て、足の形や目がどこにあるかなどを確かめてかき加えていきました。いろいろな昆虫をたくさんかいたAさんは、2枚をステープラーでとめるとAさん自作の昆虫図鑑ができました。満足そうなAさんは、先生や友達に見せてから大事に家に持って帰り、お母さんにも見せてお話したそうです。翌日、子供園に持ってきて、また、かき始め、できたものを重ねていきました。心動かされる出来事が、絵として表現されて、それを言葉で伝えることで、より鮮明に心に残っていったようでした。私が、なにより素敵だなと感じたのは、図鑑の昆虫そのものをかくのではなく、Aさんが印象に残っている部分のはっきりと表現されていたことです。「カマキリの手(カマ)ギザギザしてた。」の言葉通りにギザギザがかかれていたり、じっと見た虫の目は、Aさんをじっとみているようにグルグルと大きな目だったり・・・Aさんは、こんなふう感じていたのだと思えるものでした。

幼稚園教育要領には、『自然との出会いは、豊かな感情や好奇心を育み、思考力や表現力の基礎を形成する重要な役割をもっている』と記されています。自然に触れる体験を通して子どもたちが、様々なことに気付き、感じ、考える中で、豊かな感性が育まれます。子供園でも子どもたちが自然との関わりを深めることができるように環境を工夫していきたいと思えます。

子どもたちの様子と今月のねらい

3歳児 うさぎ組

夏季休業中、ほしグループの子どもたちは、年中長組のお兄さん・お姉さんと遊ぶ機会が増え、一緒にブロックやごっこ遊びをして嬉しそうな表情を浮かべていました。おひさまグループの子どもたちからは、始業式に夏の生活の様子を聞くのを楽しみにしています。

いよいよ2学期が始まります。9月初旬は大きいプールに入り、水の気持ちよさをこれまで以上に感じられるようにしていきます。また、気候に応じて、園庭に出て保育者と一緒に走ったり、遊具を使って遊んだりし、体を動かして遊ぶ楽しさも感じられるようにしていきます。

<今月のねらい>

- 自分のやりたい遊びを見付け、保育者や他の幼児と楽しむ。
- 保育者や他の幼児と一緒に、体を動かして遊ぶことを楽しむ。
- 生活のリズムを取り戻し、自分でできる身支度は自分でやってみようとする。

<家庭との連携>

夏季休業や夏の生活を終え、新学期が始まります。体調を崩さぬよう、生活リズムを整えて、早めの就寝を心がけましょう。新学期開始にあたり不安な様子も見られるかもしれません。気になることがあれば気軽に担任までご相談ください。

4歳児 くま組

ほしグループの子どもたちは夏季休業中に年長組や年少組と一緒に過ごしました。プール遊びでは手足をのばして体を浮かべたり、顔に水をつけてみたり等、年長組の刺激を受けてやってみようとする姿もありました。9月上旬も引き続き、プール遊びを通して、水の中で動く心地よさを感じられるようにしていきます。また、気候に応じて戸外で友達と一緒に思い切り走ったり、色々な運動遊びをしたりして、体を動かして遊ぶことが楽しいと思えるようにしていきます。

<今月のねらい>

- 興味や関心をもって自分から関わり、様々な遊びを楽しむ。
- 友達との関わりを楽しみながら、自分の思いを言葉や動きに出して遊ぶことを楽しむ。
- 戸外で友達と一緒に体を動かして遊ぶ楽しさを味わう。
- 園での生活の仕方を思い出し、自分から取り組もうとする。

<家庭との連携>

9月からおひさまグループ（短時間）の降園時間が14時00分になります。それに伴い、ほしグループ（長時間）のお昼寝時間も変わります（14時00分～15時）。活動時間が長くなり、夏の疲れも出てくる時期ですので、ご家庭ではゆっくり休み、体調を整えるようにしましょう。

5歳児 そろ組

夏休みが開け、2学期が始まります。夏季休業中は、プール遊びの中で、自分なりのめあてをもって挑戦し、できるようになる嬉しさを感じていました。まだ暑い日が続きそうですので、引き続きプール遊びや水遊びを楽しんでいきたいと思います。また、1学期に楽しんだドッジボールをしたり、夏に経験したことを再現したりして遊ぶことを楽しんでいきたいと思います。

また、来月の運動会に向けて、友達と一緒に体を動かす楽しさを感じることができるよう環境を工夫していきます。運動会に向けて、必要なことに自分たちで気付いて進めようとする姿も支えていきます。

<今月のねらい>

- 友達と一緒に体を動かして遊ぶ楽しさを感じ、繰り返し取り組んだり、挑戦したりする。
- 共通のめあてに向けて、友達と一緒に遊びを進める楽しさを味わい、つながりを感じる。
- 1日の生活の流れに見通しをもち、自分たちで生活を進めようとする。

<家庭との連携>

運動会に向けていろいろな取組を進めていきます。お子さんから楽しかったことや頑張っていること等、たくさん話を聞いてあげてください。子どもたちの頑張る姿を見守ったり励ましたりしていきましょう。また、取組の中で様々な友達との関わりがあることと思います。心配なことがありましたら、担任までお声掛けくださいね。

ほしグループ 長時間保育

夏季休業中の保育では、熱中症に気を付けながら気温に合わせてプールや水遊びをしていました。水の中でワニやアヒル、ラッコなどの動物になりきって気持ちよさそうに動いたり、フープトンネルをくぐったりすることを楽しみました。水の中でいろいろな動きをする中で浮いたり、顔を水につけたりすることにも少しずつ挑戦していました。

夏季休業中は普段の保育よりも異年齢での関わりが多く見られました。一緒に図鑑を見たり、そろ組のお兄さんが描いている魚の絵に興味をもって見て自分もかいてみようとしたりする姿がありました。また、ホールでくま組やそろ組が中型積み木で作った場にうさぎ組も加わり一緒に遊ぶこともあり、あたたかい関わりが見られました。

少しずつ暑さも和らいできたら園庭に出て、体を動かして遊ぶ楽しさを感じられるように保育者も一緒に遊んだり、友達同士で遊ぶ様子を見守ったりしていきます。